



一般社団法人
日本第三者住宅品質検査技術者認定機構
Japan the Alternative Residential House Quality Inspector Accreditation Association

JAQUA マンスリーレポート

■ 事務局からのお知らせ

8月の『JAQUA マンスリーレポート』は、住まい夢ネット様施工品質向上研修（4日目）、旭建材株式会社様施工品質向上研修（1日目）、株式会社アルフレッシュ様の民法改正セミナー、特集に、『マイホームの知って得する豆知識』をJAQUAとして考えて行きたいと思えます。

■ JAQUA 活動報告

【7月16日】

■ 施工品質向上研修4日目（岡山県）

岡山県岡山市に本社を置く『暮らしのすべてをかたちづくる住まいの総合商社』株式会社ウッドワールドのぞき様の取り計らいにより施工品質向上研修（最終日）を迎えました。机上研修から始まり、自社現場の研修では、気づき、課題、今後の検討、他社との比較などの様々な意見と質問ができました。最終日前半は、1日目にお配りした課題学習を自社の現場ととらえて発表して頂きました。その後、現場で確認した内容を撮影した写真で一つ一つ振り返り、又設計図書からの読み取り、設計担当と現場担当の有り方なども議論しました。後半は、次回行う現場監督士資格検定試験に向けて確認テストを行いました。研修では、普段気づかなかった課題や、逆に非常に良く出来ていた部分等を確認出来たのではないかと思います。最初は、言葉の少なかつた方も回数を重ねるごとに積極的に質問、意見が出た事が印象的でした。14時間ではありましたが充実した研修になりました。今後も施工品質向上に努めて頂きたいと思えます。最後になりましたが、JAQUAはそのメンバーの一員として今後ご協力出来ればと思っております。



【研修風景1】



【研修風景2】



【研修風景3】



【研修風景4】

【7月19日】

■ 民法改正と教育育成セミナー（三重県）

三重県津市に本社を置くの株式会社アルフレッシュ様の業者会にお招きいただき、民法改正と教育育成についてお話しさせて頂きました。素晴らしい事業者様と協力業者様のお集まりです。最後に協力業者さんから質問があった事に皆様の建築に対する思いを感じました。世に沢山の素晴らしい住宅を提供していただける事業者さんと確信いたしました。

【7月30日】

■ 施工品質向上研修1日目（三重県）

三重県津市に本社を置く『お役立ちの質』の旭建材株式会社様の取り計らい実施させていただきました。3日間で計11時間の研修となり、机上研修から実際の現場での検証を含めた実践的な研修です。独自のノウハウと情報ネットワークを駆使して旭建材株式会社様が全面バックアップされています。その様な思いにJAQUAも大変共感いたし今回の施工品質向上研修の運びとなりました。今回は若年層から経験豊富な監督様13名が参加されました。第1日目は机上研修となり、【時代の流れは顧客満足度向上】知識と実践をテーマに ①施工品質とは ②施工品質向上の為に ③現場の四大管理 ④施工品質管理の10工程を確認し、実際現場で起きている事象を写真などで皆様とディスカッションしながら研修を行いました。事象の中で、休憩中受講者様から「鉄筋の継手と手字着」「屋根ルーフィングの考え方」など普段から少し疑問等を持っていた内容のご質問等が出てきました。最初は言葉少なかつた皆様も、研修後の懇親会では本日の振り返りとして監督様と沢山お話しが出来、率直なご意見悩みがお聞き出来ました。次回第2日目は実際の現場での研修となります。現場はご参加頂いた工務店様の提供となり、皆さんの家づくりの熱い思いを感じたいと思えます。どの様なご意見が飛び出すか非常に楽しみです。

今回は、積極的な質問意見が沢山出たことが印象的でした。



【研修風景1】



【研修風景2】

■今月の特集：マイホームの知って得する豆知識

1 はじめに

今回は、少し専門的な内容から一般の方々に知って得する豆知識をご紹介します。木造住宅の壁に何かを壁に設置したい壁掛けTV、額等、しっかり固定するには壁内部の有る下地を探しその部分にビス等を効かす必要があります。「木造下地を自分で探せますか？」の解決方法についてお話ししたいと思います。

2 木造壁下地

最近の住宅の洋室などは右図の様に柱を石膏ボードで隠した「大壁」に壁クロスを貼って仕上げる事が多くなっています。壁に使う石膏ボードは厚み12.5mmもあるのですが材質がもろくビスがうまく効きません。その為には、木下地である柱、間柱などを探し当て確実にその部分にビスを効かす必要があります。

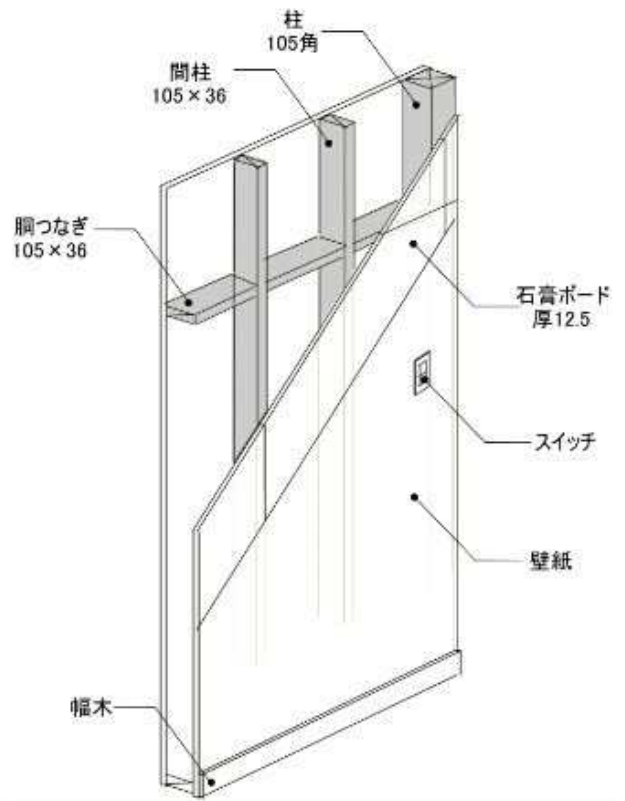
3 下地を探す方法

方法としては大きく3つ。手慣れたプロであれば、壁を「コンコン」と叩いて下地時を確認する方法がありますが一般の方には少し難しいかと思しますので、①下地探し用センサー又は②下地探し用ピンを使用するのが良いと思います。①、②の両者ともホームセンターで購入することが出来ます。

4 道具の使い方

①下地センサーは、センサーを壁にあて上下左右にゆっくり動かし反応がある部分が下地となりマスキングテープなどで印をつけます。但し、下地の種類で幅が異なりますので（柱OR間柱）のセンサーで判断をつける必要があります。ビスを確実に下地の中心に効かす為です。柱なら10cm程度、間柱なら3cm程度となるでセンサーで確認すると良いと思います。

②下地探しピンは、道具の先端に細い針があり壁に刺し下地が無い部分は根元まで刺さり、下地がある途中で止まる仕組みになっています。しかし、極細の針で目立ちにくいとは言え穴だらけにするのも良くないのである程度下地の当りをつけて行う事も重要かと思えます。一般的に木造住宅の柱は91cm間隔、間柱はその半分の45cm間隔ですのでその辺りをめがけてピンを刺しこみ下地の確認をすることが良いと思います。プロの方にしてもらう事も良いですがマイホームの事を少しでも知り長く愛着を持って維持管理をして頂く豆知識の一つとして頂ければ幸いです。



【木造壁下地構造】



【下地センサー】



【下地探しピン】

■ **新規賛助会員のご紹介** JAQUAの活動に共感頂き有難うございます。今後ともご協力宜しくお願い致します。

■ ヤマガタヤ産業株式会社 <http://www.ymg-s.co.jp>

■ **新規JAQUA会員のご紹介**

■ 株式会社 キシヒロエステート <https://kishihiro.co.jp/>

■ 株式会社 アルフレッシュ <https://refine-mie.net/>

今月の予定

- 8月 6日 紀州SW会民法改正セミナー
- 8月 20日 旭建材施工品向上研修（2日目）
- 8月 20日 住まい夢ネット現場監督士資格検定
- 8月27日 大阪SW会民法改正セミナー



一般社団法人

日本第三者住宅品質検査技術者認定機構
Japan the Alternative Residential House Quality Inspector Accreditation Association

〒190-0003 東京都立川市栄町4丁目2番98号
TEL : 042-540-7870/FAX:042-540-7871
ホームページURL : <http://www.jaqua.or.jp>